

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	杜っこ地域福祉事業所	公表日 2026年2月27日
-------------	------------	----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	テーブルで分けたり、長期休みは2グループに分けて活動を行っている。	広さ的には適切だが、個々の動きに応じて工夫していく事が必要と思われる時もある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	配置基準以上の人員を配置しており、必要に応じて個別に対応できるようにしている。	人数は居ても、出勤できなく足りないと思う日はあるため、増員が必要だと思い募集している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	一般住宅だったため玄関付近は階段や段差があるが、スロープなどで対応している。内部手すりがあり、玄関はスロープを取り付けられるのでバリアフリー対応にはなっていると思う。 物を片付ける場所には写真付きのカードを掲示しており、活動室内は段差無し、手すり完備。活動内容に応じて使用する写真カードも掲示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	終了後にはアルコール消毒も含め、全体を清掃している。 安全に配慮し、フロアマットも敷いており、活動室内にリラックススペースや個別スペースを設けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個別のスペースを設けており、不安定時等、必要時には使用できる部屋も完備している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	月1回、全体で行う会議で業務改善に向けた話し合いの機会を設けている。また、毎日のミーティングや帰りの送迎後に話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	評価表の集計表を活用しながら改善が必要な部分を話し合い、共通認識の元、課題は出来ることから改善に向けていけるよう努め、継続して行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	普段のコミュニケーションや月1回の全体で行う会議で一人一人の発言の時間を設けている。改善が必要な内容の時にはその場で話し合い、改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		第三者評価は実施していない。必要に応じて実施する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	事業所内や法人内で様々な研修が企画されており、できる限り参加している。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	事業所内で話し合い、共通認識をもって作成、公表している。 個別に合わせて作成し確認もしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	全員で話し合い作成している。 日々の保護者とのやり取りの情報を加味しながら、半年に一回のアセスメント面談にて毎回行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	子どもの特性を配慮した計画を作成している。個別支援計画案を作成する前の段階から対象の利用者様について意見、情報を出し合って日頃から支援内容を一緒に検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	更新時には必ず周知するように努めている。また、毎日のミーティングにて、全体で支援計画の再確認を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	指定された用紙等を用いて作成、確認している。ツールのみではなく、日々変化する行動に関して、学校行事、家庭環境等の環境要因も加味しながら確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	個々の状況に応じて、保護者とも確認しながら設定するように努めている。 具体的な内容を盛り込んで作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	ミーティング前に活動内容の案を決め、ミーティングで周知。その時に出た新しい案も含めて、よりその日の利用者様に合った活動をチームで決めている。 また子どもたちの意見も取り入れて作成している。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	集団活動の時間を設け、季節行事等テーマが決まっている時でも固定化しないように内容を工夫している。 また、固定が必要な子と、変化が必要な子、どちらも対応できるようにしている。	現在、ゲームをする事が多いが、調理活動や工作活動等、幅広く取り入れていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	毎日、個別活動と集団活動を取り入れている。 無理のないように留意しながらステップを心掛け、まだできていない部分とできていない事を伸ばす部分で組み合わせしており、成功体験を組み重ねていけるように意識して作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	13時から毎回行っている。 また、利用者様の前回利用時の状況等も加味し、適切な人員調整、声かけ内容等話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	送迎後に打合せの時間を設けている。 情報共有の時間確保のために、連絡帳と記録が一体型の書式を活用している。 勤務時間があるため、出来る限りの時間になってしまう日もありますが、共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	連絡帳と一体型の記録用紙を使用し、作成漏れが無いように工夫している。また、個別に当日の目標をミーティングで定めており、その記録も作成しており、いつでも確認できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半年に1度、モニタリングを行っているが、必要時には特定の利用者様に関して話し合う機会も設けている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	偏りはあるが、意識して取り組んでいる。 複数組み合わせた支援をしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	選択肢がある活動を取り入れつつ、鮮明な意思表示がまだ難しい利用者様の場合は個別に分かりやすく提示したり声掛けをしたり、答えやすい方法で自己決定ができるよう配慮している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	基本参画できている。 難しい場合は必ず情報共有し代役を立てている。 また、他のスタッフからも情報収集してから会議に参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	必要に応じて連携をしている。 医療機関との連携の連携はないが、保護者様を通しての支援を行っている。 地域包括支援センターが実施している、地域の事業所の集まりに可能な時に参加し、情報共有等行っている。 障害福祉関係機関への悩み相談や研修の積極的な参加を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	年度始めには年間行事予定表を受け取るようにしており、必要に応じて学校へ直接問い合わせをしている。また、固定電話の近くに学校の連絡先一覧を掲示して、迅速に連絡できるようにしている。 先生や保護者と下校時間、その他連絡調整は必要に応じてその都度行うようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	現在不十分ではあるが、必要に応じて行っている。 就学前の利用児の様子は、保護者様、相談支援事業所を介して情報共有を行っている。また、利用開始直後の担当者会議にて意見交換等の機会がある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	相談支援事業所を介して担当者会議や書面で情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	2025年12月に研修を実施。 支援内容の相談を行い、研修を受けた。	今後も必要に応じて機会を設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	行いたいと思っているができていないと思う。 児童館祭りや子ども食堂、地域の介護施設でのイベント等に参加し、機会を設けている。	来年度は同法人内の児童館との交流を予定している。必要に応じて、公園や子ども食堂に行ったときに少しでも交流できるよう配慮する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	傍聴参加をした。 今後も日程を見ながら可能な限り参加していく。	※1名「不明」と回答。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳やLINE、電話、送迎時等、様々な方法で密に連絡をとり、情報共有をしている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	事業所に来た情報等も含め、対象者に対してご案内している。 必要に応じてアドバイス等行っている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に重要事項説明書や契約書を一緒に確認しながら行っている。また、必要に応じて個別に説明する機会を設けている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	アセスメント面談時に行っている。保護者の意向も聞きながら、杜っと利用時の状況や見立て等もお伝えし、情報のすり合わせをする事で、より利用者様にとって良い支援ができるように意識している。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	半年に一回のアセスメント面談にて毎回一緒に検討と説明を行い、必ず同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	面談だけでなく、連絡帳や電話、LINE等で相談を受け付けており、状況等を確認しながら必要な情報提供、支援内容の見直し、他機関との連携等に応じた対応を心がけている。 相談があるときは行っている。また、相談がなくても気になったことは相談するようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0	年2回、保護者会を開催しており、兄弟同士も参加できるイベント、（最近はバザー）も年1回開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情対応マニュアルを策定している。 また、契約時に苦情時の連絡方法、流れの説明等行っている。 発生時は職員へ共有、検討、対応している。また、必要に応じて法人内も共有し対応できる体制をとっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	杜っご便りを年4回作成、配布している。また、Instagram、Facebookを活用して活動内容を広く周知できるように工夫している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の取り扱いに関する研修を入職時と年度始めに行っており、日頃からスタッフ間で声を掛け合いながら意識をもっている。 外部へ資料提供など必要なときはその都度確認している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	情報伝達に関して、方法を選択肢として提示し、より円滑にできる方法で対応している。 どの伝え方が分かりやすいか相談しながら行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	地域参加型のイベントを年1回開催している。 また、常にフードバンクやペットボトルキャップ回収等で関わりを持てるようにしている。	手づくり工作をもってご近所へあいさつ回りやバザーは毎年行っているが、開けた事業所になるように今後も地域参加をしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	マニュアルの整備は行っており、避難訓練も定期的に行こなっている。	できているが、ご家族への周知は連絡帳や杜っご便りのみ。 どのような対応をしているのかイメージが伝わりやすいように、報告書やマニュアルとして周知する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年に数回、別々の災害を想定した訓練を行っている。また、避難だけでなく、非常食体験、動画を使用したクイズ形式の訓練も行った。 BCP災害と感染症の研修と訓練は年間計画に入れて行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	個人のファイルに服薬情報、てんかん発作等その他の留意事項について、個別に対応マニュアルを作成している。 面談やアセスメントで把握するが、定期的な経過等の確認も行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	医師の直接の指示は受けていないが、保護者様と綿密に相談をして、誤飲防止に努めている。 医師の指示書がある場合は基づく対応をしている。また、その都度保護者や本人とも確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画の内容をその都度確認しながら研修と訓練を行っている。危険がないか確認、改善をして支援している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	活動内容によって必要に応じて周知し検討している。	周知はしているが、一度伝えたきりの為、細やかに伝えていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	起こった場合はすぐ周知し検討と改善を行っている。	より再発防止に努めていく為、事業所内で発生したヒヤリハットを活用して、事例検討会を実施していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止研修を行っている。 事業所内の研修を行い、法人内の研修にも積極的に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	個別支援計画への記載と、契約時の説明、身体拘束に関するマニュアルを整備し、共有している。やむを得ず行った場合は、保護者に伝え職員間で共有し記録を残し改善方法を検討している。		